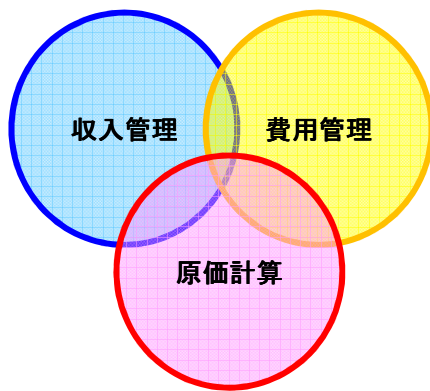


診療科&部門別 原価計算代行・ノウハウ提供

mediThink-cost

現場に負担をかけず、既存の病院システムで、
診療科・病棟などの部門別に実態が把握できる原価計算を提供します

現場が見え経営層が使える原価計算



病院管理経験者のノウハウと管理会計学の応用をベースに、病院独自の特性（収益構造、費用管理状況、業務運用など）に合わせて開発された計算方法です。また、現場医療従事者の視点から分析を行うことを可能にした特徴があります。



原価計算運用までに達成すべきこと

「配賦」を多用する事で、本来見なければならない課題が見えづらくなることさえあります。これが経営で使えない原価計算になる理由です。「配賦」を減らし、「直課」を増やすには、以下の4つのポイントを把握することが不可欠です。

Point 1

医薬品・医療材料などの消費状況

Point 2

医師、看護師、コメディカルの活動状況

Point 3

各部署の業務状況の定量化

Point 4

高額医療機器の損益

病院経営の課題を mediThink-cost が解決します

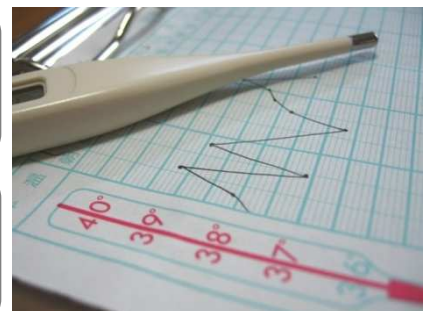
よく聞かれる病院経営の課題

毎年度の収支予測と実績との乖離が大きく、医師などの実感との乖離も大きい。

病院情報システムを導入しているが、データを病院経営に活かし切れていない。

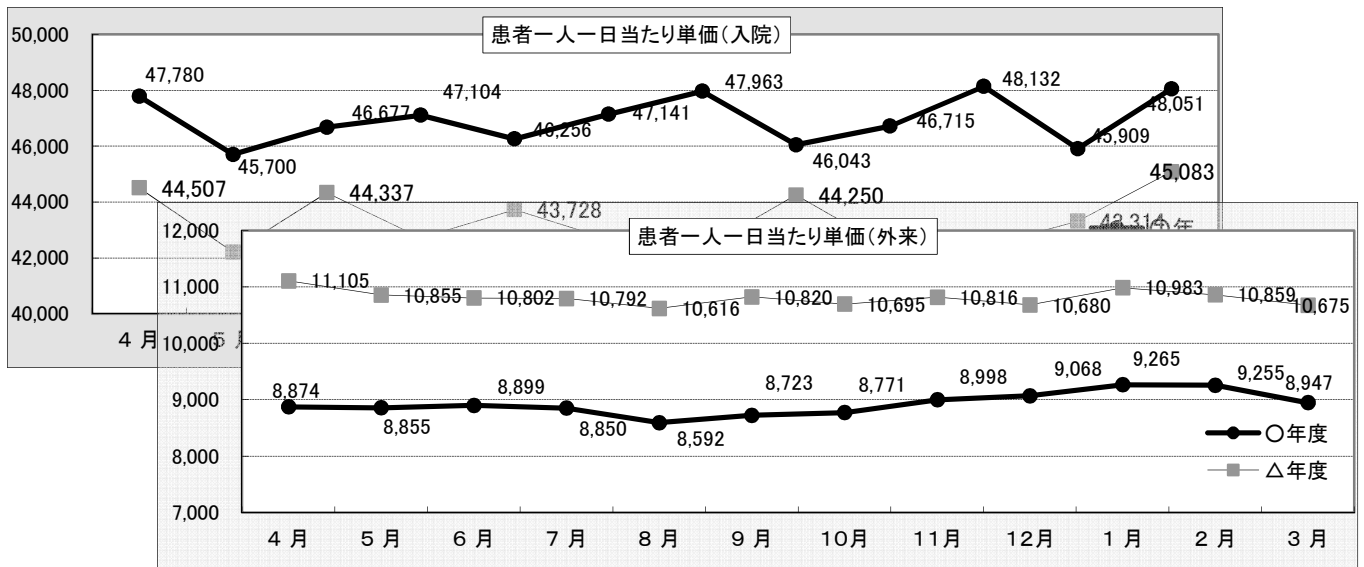
病棟別の管理のための現場レベルの経営課題が何か明確になりにくい。

外来と入院の単価のバランスが悪い感じはするが、利益と損失の発生箇所が明確に分らない。



病院経営の課題を **mediThink-cost** が解決します

明確な原価計算とは・・・



どうすれば経営が見えるの？

患者数の推移を分析しても、病院の強みが分かる程度です。診療単価だけを合わせて分析しても、その診療科が利益を上げているのか、損失を生んでいるのか確かな事はわかりません。



ここで必要なのが、**収益と費用の付き合い**『原価計算』です。

原価計算の効果とは？

- ・科別、部門別損益分析からの改善
 - ・収益構造把握から改善計画立案
 - ・医療の質を落とさないコスト削減
 - ・高額医療機器収益性改善
 - ・職員の原価意識の高揚
- などがあります。

現場に負担をかけない既存の病院システム情報を活用した原価計算を提案いたします

mediThink-cost (導入詳細)

期間 (目安)	・ 2~3ヶ月 (伝票、帳票などのデータ化程度により変動)
料金 (目安)	・ 個別対応 (伝票、帳票などのデータ化効率により変動)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ システム導入の手間が不要 ・ 要員教育がいらず、導入による業務負荷が最小 ・ 病院のシステム環境に応じた計算手法 ・ 原価管理実務経験者のノウハウに基づく計算手法 ・ 決算情報との高い整合性 ・ 計算の内製実施に向けた指導が可能
必要な情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務諸表 (決算情報) ・ レセプトデータ (DPCデータ、通常の医事統計データでも可) ・ 費用情報、部門情報など



メディグループ株式会社 <http://www.mediprove.co.jp>

〒617-0852 京都府長岡京市河陽が丘1丁目22-6

TEL・FAX:075-954-4117 E-mail:info@mediprove.co.jp